

災害時におけるトイレの使用確認手順

集合
住宅編

災害が発生すると、排水設備の損傷等により、トイレがいつも通りに使えないことがあります。地震災害をはじめとした災害時に備え、安心して利用するための手順を事前に確認しておきましょう。



0 災害発生・トイレの使用中止

住民が
点検

災害が発生したら、自宅のトイレの使用を中止します。通常通り流すと、下水が逆流してくる可能性があるため、点検を行う必要があります。

1 自宅のトイレに被害がないか確認

住民が
点検

便器や配管に損傷があると、水があふれてくる、臭気がある等、緊急で対応が必要な場合があります。

- 便器本体が破損していないか？
- 便器に接続している配管が外れていないか？
- 水が減っていないか？

異常なし

ここからは、可能な限り他の住人や管理組合と協力して点検を行いましょう！

2 他の住戸のトイレに被害がないか確認

住民が
点検

集合住宅のトイレは排水管でつながっているため、上下階の住戸のトイレや配管が壊れていないか確認します。

- 近くの住戸のトイレ本体や配管に被害がないか？

異常なし

3 共用部や外の排水系統に被害がないか確認

管理者が
点検

排水系統に損傷がないか目視で確認します。…排水系統の仕組みと点検のポイントは裏面Aをチェック！

- 公共汚水ますやマンホールが損傷していないか？
- マンションの敷地内の第一ますが損傷していないか？
- 共用部の排水管が壊れていないか？（目視できる場合）

異常なし

4 トイレに水を流して、正常に流れるか点検

協力して
点検

トイレ本体や排水設備に損傷がなければ、下の階から順番に水を流してみましょう。つまりの原因となるため、トイレトーパーは流さないようにします。…詳しい点検方法は裏面Bをチェック！

断水している場合

- バケツ洗浄をして、水があふれてこないか？
- 第一ますから水が流れているか？

異常なし

バケツ洗浄による
使用が可能

断水していない場合

- 通常通り流して、水があふれてこないか？
- 第一ますから水が流れているか？

異常なし

通常使用が可能

水道の復旧

使用確認ができるまでは、
携帯トイレを使用！



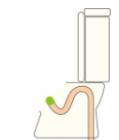
携帯トイレを使用

異常あり

トイレの臭気対策



水が減って臭気がある場合は、水を補給してラップで密閉



配管がむき出しになっている場合は、袋にいれたタオルで配管をふさぐ

携帯トイレを使用

異常あり

確認せずに自宅のトイレを流すと…

他の住戸の被害を確認せずに上階で水を流した場合、下の階のトイレから水があふれたり、天井から漏水する場合があります。



携帯トイレを使用

異常あり

液状化等で損傷した場合



液状化等により、汚水ますやマンホールが浮き上がっている、傾いている等損傷している場合は、設備修理が終わるまで携帯トイレを使用する。



携帯トイレを使用

異常あり

水があふれてきたときは…

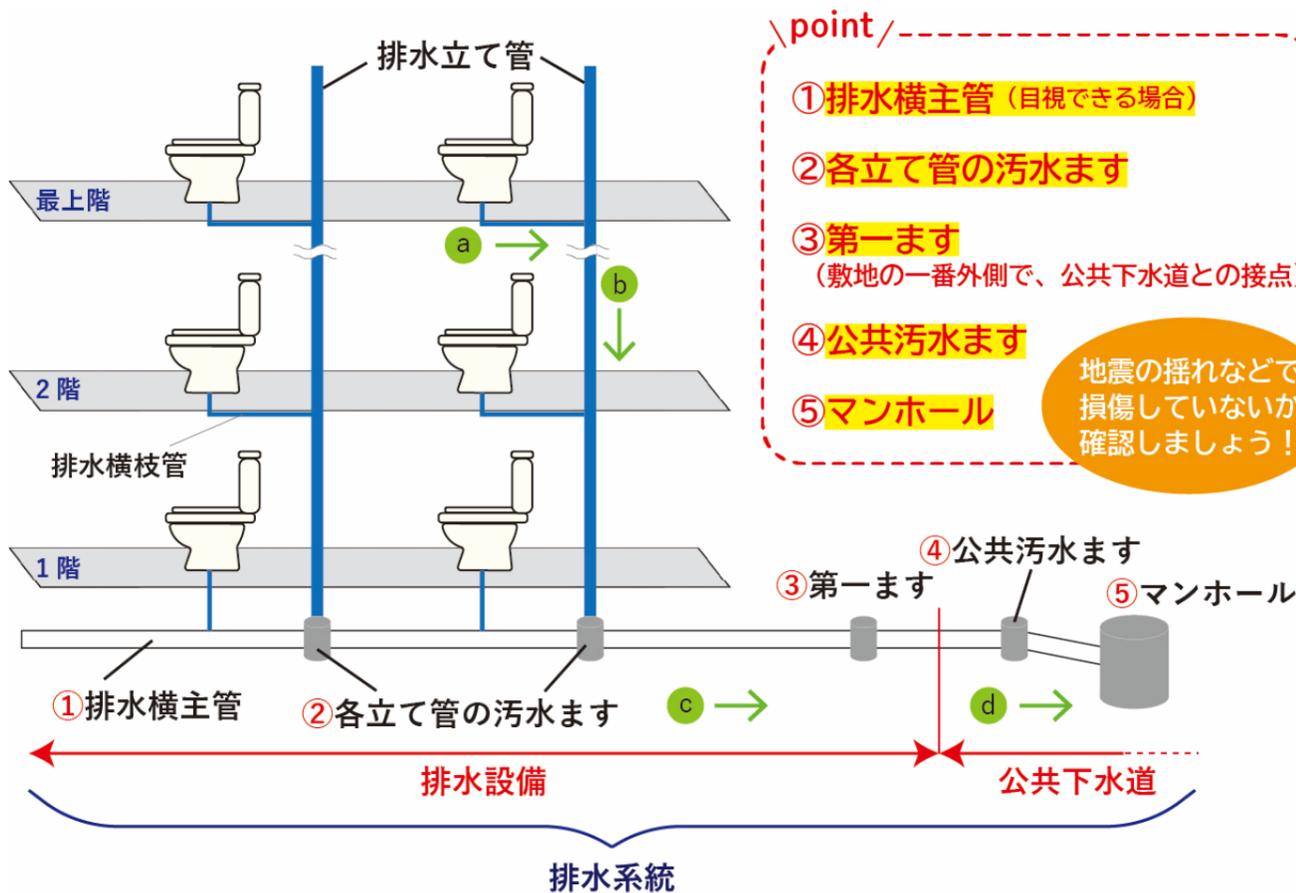


逆流をふせぐため、ビニール袋に水を入れた「水のう」をつくり、便器に設置する。

排水システムの仕組みと点検のポイント

トイレや洗面台等から出る生活排水は、建物の排水管（排水設備）を通過して敷地外の公共下水道へ流れます。集合住宅では住戸同士の排水管がつながっており、1階床下の排水横主管に合流していることが一般的です。管理会社と事前に話し合い、ますの位置がどこか、排水管が見えるかどうか確認しておきましょう。

※集合住宅により排水の仕組みは異なるため、事前に確認しておきましょう！



point

①排水横主管（目視できる場合）

②各立て管の污水ます

③第一ます
（敷地の一番外側で、公共下水道との接点）

④公共污水ます

⑤マンホール

地震の揺れなどで
損傷していないか
確認しましょう！



液状化で損傷した
污水ます・マンホール

B 水が流れるか点検する方法

！ トイレに損傷がないか確認してから点検を行うこと

※役割を決めて、複数人で点検しましょう！

1. トイレに水を流して、あふれてこないか確認

断水している場合は、バケツを使用して水を流します。

※周りの住戸のトイレの被害を確認せずに上の階で水を流した場合、下の階で水があふれたり臭気がある場合があります。バケツ洗浄を行う際は、必ず1階の住戸のトイレから行いましょう。

💡 バケツ洗浄の方法

①バケツ一杯程度（5～6L）を一気に流し込む

②におい防止のため3～4Lの水を貯める

※詰まりの原因となるため、トイレトーパーは流さない（ゴミ箱を用意する）

※浴槽等に洗浄水を確保しておくことで、断水時のバケツ洗浄に活用できる

色水を流すと、
水が流れているか
分かりやすい！



<排水の流れ>

- a トイレを流す
- b 排水立て管を通り、上下階の排水と合流して流れる
- c 排水横主管で建物全体の排水が合流し、第一ますに流れる
- d 敷地の外に出て、公共下水道へと流れる

平時から同じマンションの住民や
管理会社と話し合っておきましょう！

集合住宅の場合、自宅のトイレの使用確認だけでなく、周りの住戸の被害の確認も行う必要があります。災害時に協力できるよう、平常時から話し合い、関係性を作っておくことが重要です。

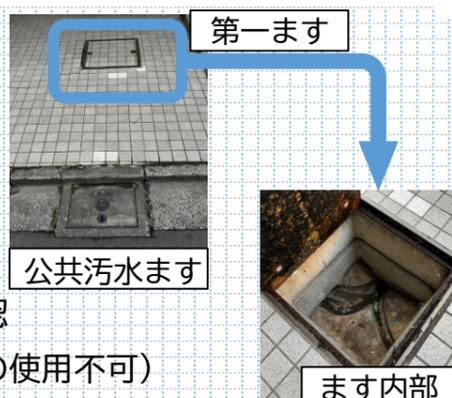
また、排水管や敷地内の第一ますの位置等、事前に確認しておくことも大切です。管理会社と話し合い、マニュアルの作成や役割分担を行いましょう。

2. 第一ますに水が流れているか確認

①開閉工具等を用いて、敷地内の第一ますを開ける。

②トイレから水を流す
（断水・停電時はバケツ洗浄）

③第一ますに水が流れているか確認
（滞留している場合は、トイレの使用不可）



このマニュアルは、商業施設のトイレの使用確認にも活用できます！

